

津山工業高専

～(学生にゴミ問題に対する意識を覚醒する取組)～

津山市環境福祉部ごみゼロ推進係長の朝田一氏らをお招きして、新入寮生を対象としたリサイクル研修会を行いました。

津山市のごみ処理の現状や、包装容器リサイクルについての講演を聴き、また関連したDVDを視聴しました。

地域環境のみならず、これからの地球環境を考える上で、リユース(資源の再使用)・リデュース(ごみの減量)・リサイクル(資源の再利用)の3Rが大切であることを学びました。



空缶、ペットボトル、
段ボールの回収
により16,980円
の売却益をえる



美化委員会による空缶のリサイクル及び寮生会の環境委員による空缶、ペットボトル、段ボールの回収を実施しており、平成20年度はリサイクルにより16,980円の売却益を得ることができました。この売却益は学生会費及び寮生会費へ還元することで学生のリサイクルに対する意識向上を狙っています。

また、機械工学科5年の学生6人と藤原教員が、津山市小桁にある津山市環境事業課の焼却場の見学に行き、ゴミの処理の実態を知ることが出来ました。

次年度へ向けたさらなる取組又は目標

学生への環境問題への意識向上のためリサイクルの徹底と校内美化活動を積極的に取り組んでいきます。